

唐沢山城跡整備基本計画書

(概要版)



国指定史跡「唐沢山城跡」の紹介

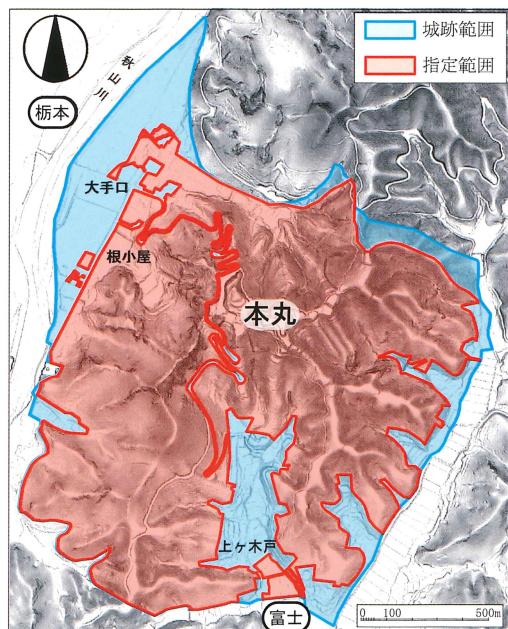
所 在 : 栃木県佐野市富士町・栃木町

指 定 日 : 平成 26 年 3 月 18 日

指 定 面 積 : 約 194ha(1,941,923.17m²)

説 明 :

栃木県佐野市に所在する唐沢山(標高242m)一帯に築かれた、中世から近世初頭にかけての関東最大級の山城です。平将門の乱を鎮めた平安時代の武将・藤原秀郷の流れをくみ、当地域を長らく領有した佐野氏により戦国時代に地域支配の拠点として整備され、越後の上杉氏や小田原の北条氏からの攻撃をたびたび退けた堅城として知られています。また、要衝の地にあったことから、上杉氏と北条氏による激しい争奪戦が行われ、一時期それぞれ入城した各氏によって改修が繰り返され、さらに堅牢な城郭へと発展していきます。そして、最終段階となる近世初頭には、関東では数少ない織豊系の築城技術(織田信長や豊臣秀吉の勢力下の城郭で多用された技術)によって、高さ最大8mを超える高石垣を有する城郭として整備されるという歴史的な経緯を知ることができます。貴重な史跡です。



整備基本計画とは？

市のシンボルである唐沢山城跡を後世に保存・継承し、また郷土の宝として末永く親しまれるものとするための活用や整備の基本的な考え方や課題の整理などを行い、『史跡唐沢山城跡保存活用計画書』を平成28年3月に策定しました。これを受けて今後の史跡整備の基本方針や、整備の範囲や内容などを検討し、具体的な方向性を示すことを目的として『唐沢山城跡整備基本計画書』を策定しました。本書はその概要版となります。

整備基本計画の概要

関東最大級の国指定史跡である唐沢山城跡について、全体的に同時に整備を進めることはできないことから、遺構の現状や立地、保存上の緊急性や課題などの観点から、次のとおり7つの区域に区分して地区ごとの整備方針や内容などを定めました。また、このほかに、各種の整備テーマごとの計画も立てています。

城跡中心区域(A区)

本丸、二の丸、南城などの範囲

山頂区域(B区)

A区を除く、山頂付近の主な曲輪などが所在する範囲

根小屋区域(C区)

西麓(栃木)の根小屋のうち御台所や、隼人屋敷、家中屋敷などの範囲

山頂縁辺・山腹主要区域(D区)

山頂縁辺の鳩の峰、土矢藏および山腹の千騎口、つきとや、天徳寺丸南方の尾根筋の虎口などの各所

景観・環境保全区域(E区)

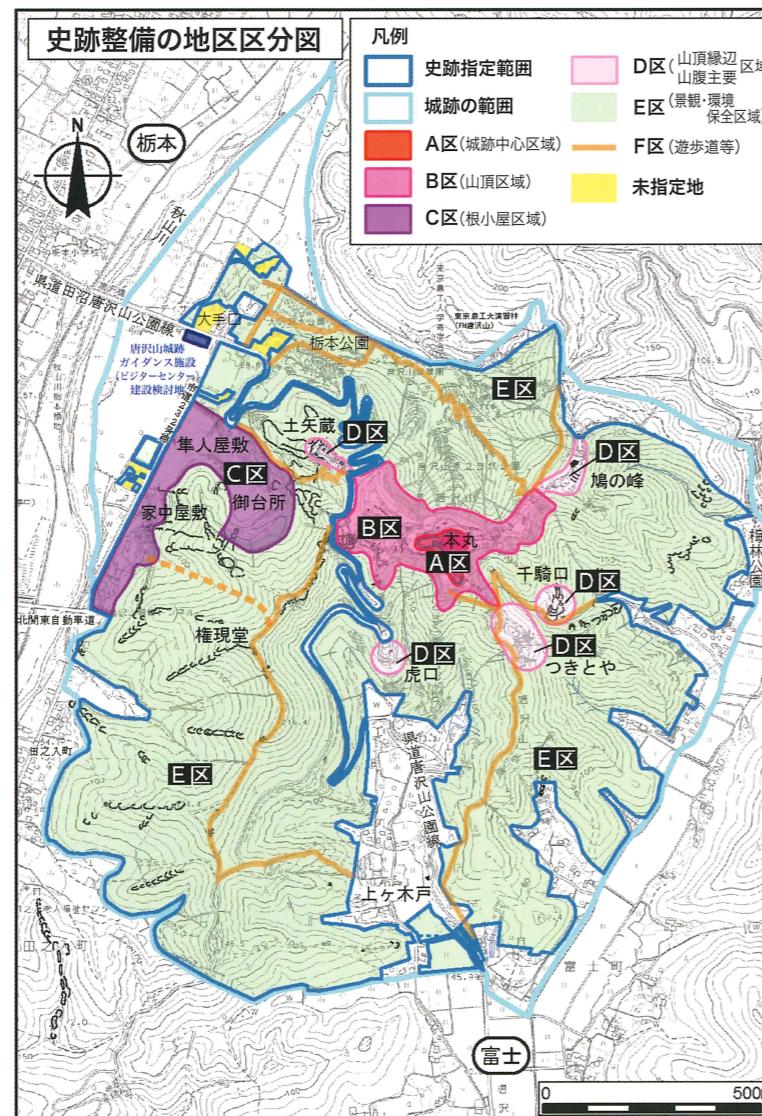
縄張調査で城郭遺構が広く分布していることが確認された範囲(土地の現況は主に山林、農地、公園など)

遊歩道等区域(F区)

既設や新規整備を検討する遊歩道等

ガイダンス施設建設検討地区

旧田沼高校跡地の一部において唐沢山城跡ガイダンス施設(ビジターセンター)の建設を検討



城跡中心区域(A区)の整備概要

◇ 整備方針

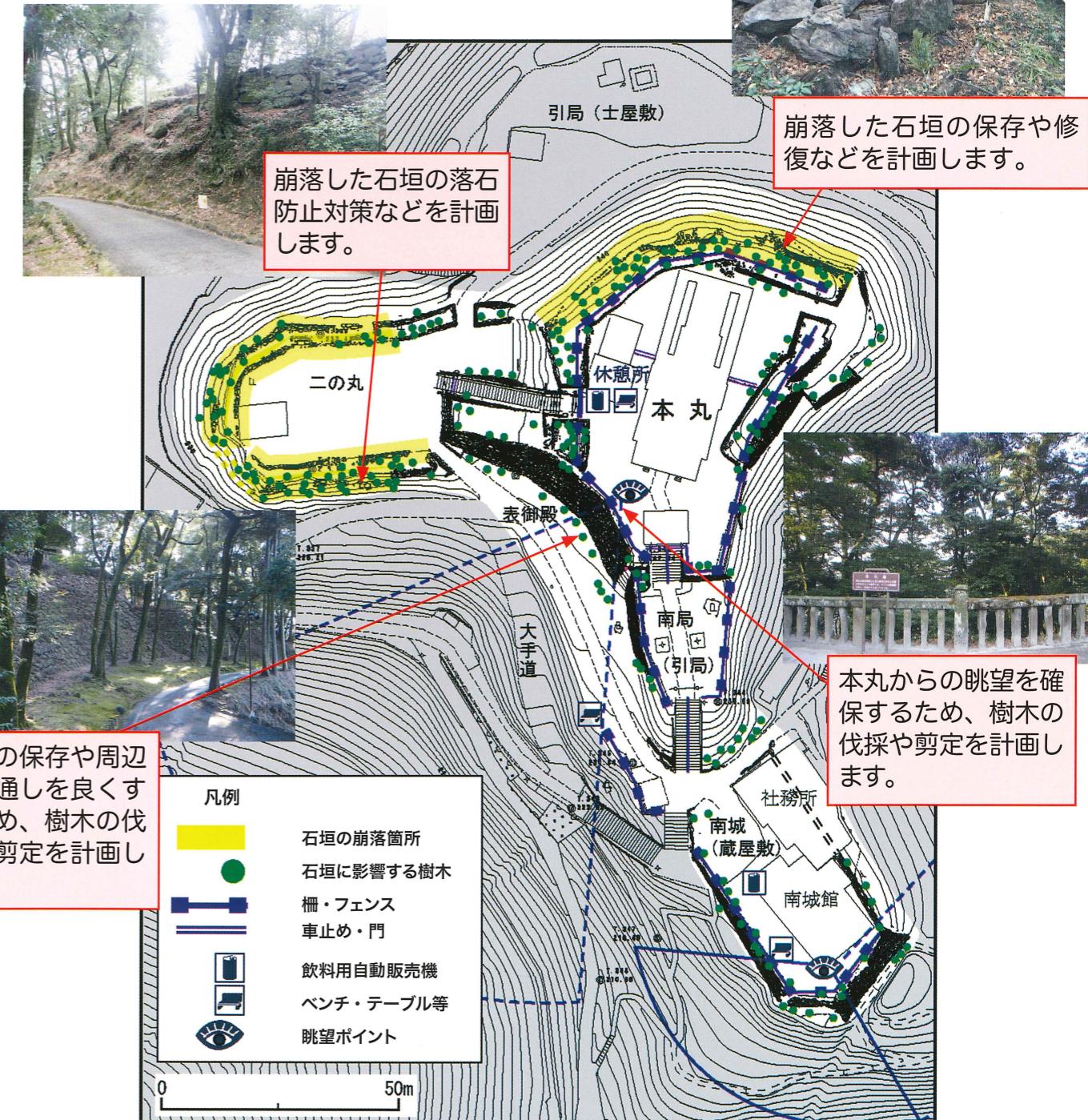
唐沢山城跡において、史跡の価値を構成するたくさんの要素のうち、最も重要な本丸、二の丸、南城の石垣や石塁などの遺構を保存するための整備を最優先に行います。

◇ 主な整備内容

- ・石垣の保存や修復、落石防止対策などの整備
- ・遺構(石垣や土塁など)を保存するための植生管理(樹木の伐採や剪定など)や排水施設の維持及び再整備
- ・眺望を確保するための植生管理



崩落した石垣の保存や修復などを計画します。



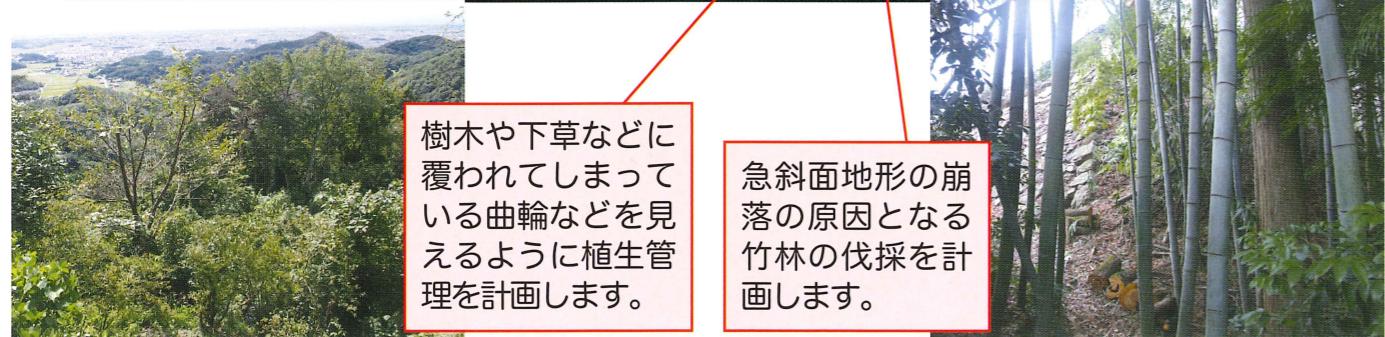
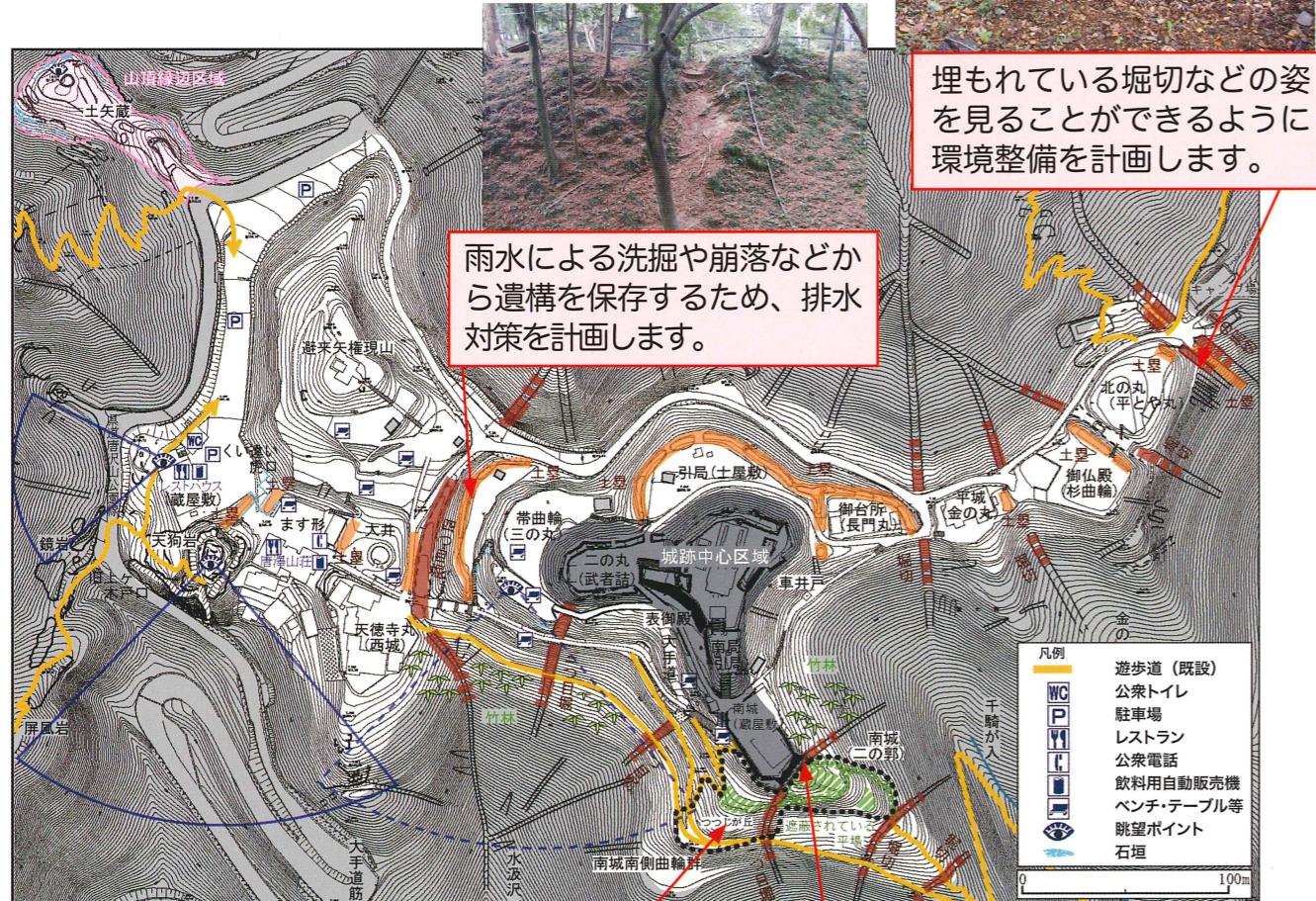
山頂区域(B区)の整備概要

◇ 整備方針

重要な地上遺構(石垣、土塁、堀切など)が集中している区域であり、これらを確実に保存するための整備を優先的に行います。また、来訪者が山城の本来の姿を実感し、史跡についての理解を深めることができるように遺構の顕在化を行うとともに、城跡主要部への入口となるくい違虎口周辺をはじめ、史跡内を安全・快適に見学をすることができるよう活用面も重視した整備を行います。

◇ 主な整備内容

- ・遺構の保存や、急斜面地形を保全するための植生管理(樹木や竹の伐採・剪定など)
- ・遺構を保存するための排水施設の維持及び再整備
- ・眺望の確保、曲輪や遺構などを見せるための植生管理や、景観を向上させるための環境整備



根小屋区域(C区)の整備概要

◇ 整備方針

根小屋は、地上で城主の居館跡や家臣団の屋敷跡などの区画を見ることができます。また、発掘調査によって地下にも遺構(現在は埋め戻して地下で保存しています)が良好な状態で残されていることが確認されるなど、史跡の価値を高めている重要な区域です。これらの史跡の価値を将来にわたって持続させるための整備を行います。また、現在は一般的には公開されていない区域ですので、今後、公開・活用を図ることを目指して区域内の全体的な環境整備を進めていき、さらに長期的計画として史跡公園整備を検討します。

◇ 主な整備内容

- ・遺構を保存するための植生管理(樹木の伐採・剪定など)や排水施設の再整備
- ・遺構を見せるための植生管理(竹木の伐採や下草刈りなど)
- ・史跡の景観を向上させるための環境整備
- ・史跡見学ルートの設置(遊歩道等の再整備や新設)
- ・史跡公園整備の検討【長期的計画】



山頂縁辺・山腹主要区域(D区)の整備概要

◇ 整備方針

山頂縁辺(鳩の峰、土矢蔵)や山腹の主要な各所(千騎口、つきとや周辺、天徳寺丸南方の尾根筋の虎口)は、城を守る上で重要な地点であり、特徴的な遺構が所在しています。しかし、現状では樹木や下草の繁茂や、倒木の放置などにより荒れた環境となっています。このような状況を改善し、区域内の遺構の保存を図るとともに、今後、史跡内の見所として積極的に来訪者に公開していくために、立地条件などを踏まえて見学ルートの設置や各所に適した環境整備などを行います。



崩落が進む土矢蔵の石垣

◇ 主な整備内容

- ・石垣などの遺構の保存や、遺構などを見せるための植生管理
- ・眺望を確保するための植生管理
- ・史跡の景観を向上させるための環境整備



千騎口をふさぐ倒木

景観・環境保全区域(E区)の整備概要

◇ 整備方針

土地所有者や関係行政機関などの協力を得て、当面は現況の土地利用(山林、農地、公園など)のまま適切な維持管理を行い、区域内一帯に所在する遺構の保存や、史跡の景観及び自然環境の保全や改善・向上を図っていきます。

◇ 主な整備内容

- ・広域的な文化財パトロールの実施体制の整備
- ・遺構や地形にき損や崩落が発生した場合の復旧などに向けた対応体制の整備



北西麓の景観(現況:山林、朽木公園など)

遊歩道等区域(F区)の整備概要

◇ 整備方針

史跡の見学ルートについては、現在設置されている遊歩道などを最大限に活用し、設置者(管理者)である関係行政機関などとの協力・連携により、安全性や快適性を向上させるために補修や再整備を行います。

また、史跡の見所となる各所への新たな見学ルートを設定する場合には、遺構の保存や景観に配慮しながら、かつての古い道筋を取り入れるなど工夫して新設を検討します。

ガイダンス施設建設検討地区域の整備概要

◇ 整備方針

ガイダンス施設は、唐沢山城跡を公開・活用していく上できわめて重要な施設です。また、史跡のガイダンス機能のほか、唐沢山の自然や市内の名所などの観光情報の発信の場として、あるいは学校教育や生涯学習などの学びの場として、さらには史跡ボランティアの活動の場などの多目的な利用ができることを目指して整備を検討します。

テーマごとの整備概要

これまで紹介してきた区域ごとの整備と関連して、次のように史跡の保存と活用のために必要となる各種の整備について、テーマごとに計画を立てています。

◇ 石垣など遺構の保存に関する計画

- ・石垣などの地上遺構については、現状を最大限に維持して保存するため、石垣などに影響を及ぼす樹木の伐採・剪定や、石垣崩落箇所の落石防止対策を計画します。
- ・石垣の現況調査、地質調査、日常的な観察(点検や定点観測など)を行い、これらの基本情報を蓄積して石垣カルテの作成(追加・更新)を計画します。
- ・地下遺構については、地下に埋蔵された状態での保存を計画します。

◇ 環境整備に関する計画

- ・遺構の保護、急斜面地形の保全、曲輪や遺構の顕在化、眺望の確保などを目的とした植生管理(樹木や竹の伐採・剪定、下草刈りなど)を計画します。
- ・史跡の景観や環境を改善・向上させるため、倒木の撤去や、現在すでに不使用・不要となっている工作物の撤去などを計画します。

◇ 排水整備に関する計画

- ・雨水による洗掘などから遺構を保護するため、排水施設の再整備や新設を計画します。

◇ 動線に関する計画

- ・市内各所から史跡までの誘導ルートや、史跡内の見学ルートの設定などを計画します。

◇ 公開・活用に関する施設整備計画

- ・史跡内の案内・説明サインや、便益施設(休憩施設、トイレ施設、駐車場)および安全対策施設(転落防止柵やフェンスなど)の整備や再配置などを計画します。

◇ ガイダンス施設に関する計画

- ・ガイダンス施設の役割や構成、機能などについて計画します。

◇ 公開・活用や管理・運営に関する計画

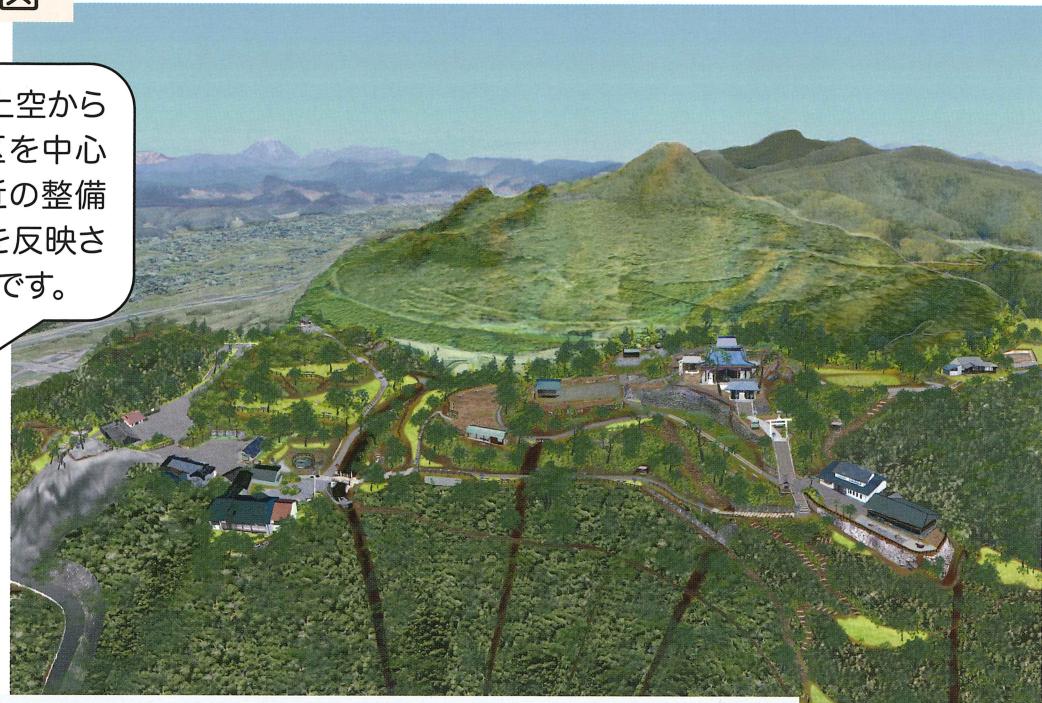
- ・史跡のPRや、関連歴史・文化遺産との総合的な活用、教育分野との連携、まちづくりや観光面での活用を図ります。また、史跡の管理・運営の体制整備などについて計画します。

整備イメージ図

こちらは、南方上空から見たA区とB区を中心とした山頂付近の整備実施後の様子を反映させたイメージ図です。



唐沢山城跡
PRキャラクター
からまる



こちらは、西方上空から見た、C区を中心とする西麓・根小屋周辺の整備実施後の様子を反映させたイメージ図です。



唐沢山城跡
PRキャラクター
からちゃん



今後の事業の予定について

この整備基本計画の策定を受けて、平成29年度より史跡整備に向けた基本設計や実施設計などの策定に着手していきます。その後、土地所有者や関係行政機関などの理解や協力を得ながら、史跡整備に関する取り組みや検討を順次、進めていきます。

『唐沢山城跡整備基本計画書(概要版)』（平成29年3月発行）

編集・発行 栃木県佐野市教育委員会事務局文化財課
(お問い合わせ先) 〒327-0398 栃木県佐野市田沼町974-3 TEL:0283-61-1177